

多様なつながりが育む、未来を担うこどもたちの力 ～地域とともに歩む学校づくりの実践～

発 表 者 仙台市立荒巻小学校学校運営協議会 会長 阿部 淳市

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
宮城県仙台市	382名	令和4年度	11名	4回	9名

学校教育目標

夢を持って、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成 ～笑顔あふれる楽しい学校・地域とともに～

学校・地域の特徴

総合的な学習の時間の児童の学習に、学校運営協議会の委員をはじめとする地域の大人が関わりを持っている。

「拡大学校運営協議会」では、大人も子どもと一緒に熟議を行う。

地域諸団体や歴代PTA会長、学校支援地域本部を核として、小学校に愛着を持って子どもたちの学習支援や見守りに大変協力的である。



学校運営協議会の概要

委員の構成

- ・スポーツ育成会会長
- ・前・現PTA会長
- ・学校支援地域本部
スーパーバイザー
- ・町内会連合会会長
- ・民生委員児童員協議会会長
- ・同窓会会長
- ・会社代表取締役
- ・マイスクール児童館館長

これまでの主な議題例

- ・新しく来た人、元から住んでいる人と活発で気軽に関わっていくまち
- ・人と人とのつながりを大切にし、大人だけでなく子どもも楽しく暮らせるまち
- ・イベントを通して年齢に関係なく住民たちの交流が深まるまち

組織図

まちづくり委員会 町内会連合会 社会福祉協議会 赤十字奉仕団
民生委員児童員協議会 体育振興会 スポーツ育成会

学校運営協議会

PTA PTA顧問有志の会

連携・協働

学校支援地域本部 (地域学校協働本部)

交通指導隊

おやじの会 同窓会 マイスクール児童館 市民センター 地域商店・会社

地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

地域の良さや課題について、大人も子どもと一緒に熟議を行う場が学校運営協議会にある。子どもたちは、自分たちの考えを学校運営協議会の委員を中心とした地域住民や保護者と話すことで、大人の考えにふれ自らを振り返る。

熟議に参加した学校運営協議会の委員は、熟議後、大人だけで児童の話合いの様子を振り返り、児童の学びの状況を共有し、児童への今後の学習の支援の在り方を話し合う。大人にとっても地域を見つめる機会となり新しい発見もある。また、つながりや共有の思いも生まれる。

6年生が主催する「あらまつり」は、総合的な学習の時間の地域学習を生かした児童・地域住民・保護者の活動の場であり、児童の学習を核として、学校運営協議会を窓口、地域のコミュニティと保護者のコミュニティがゆるやかにつながりながら、児童は地域の一員として学びを得ている。

委員の構成

- ・スポーツ育成会会長
- ・町内会連合会会長
- ・民生委員児童員協議会会長
- ・交通指導隊副隊長
- ・コンサルタント会社代表

地域で支えている人たち

- ・前・現PTA会長
- ・学校支援地域本部スーパーバイザー
- ・同窓会会長
- ・マイスクール児童館館長

学校で支えている人たち

組 織

ー荒巻まちづくり委員会ー

町内会連合会

民生委員児童委員協議会

社会福祉協議会

赤十字奉仕団

体育振興会

学校運営協議会

連携・協働

学校支援地域本部

(地域学校協働本部)

PTA PTA顧問有志の会 おやじの会 読み聞かせボランティア 学校ボランティア防犯巡視員
同窓会 スポーツ育成会 マイスクール児童館 市民センター 交通指導隊

学校運営協議会・打合せ		
1	5月	◦ 事前打合せ
	6月	◎ 学校運営協議会
2	8月	◎ 学校運営協議会 ◦ 地域団体協力依頼
	9月	◦ PTA分科会 ◦ 小打合せ ◦ 地域団体分科会
	10月	◦ 小打合せ ◎ あらまつり ◦ 分科会
3	12月	◎ 学校運営協議会
4	2月	◦ 事前打合せ ◎ 拡大学校運営協議会 ◦ 事後検討・協議

◎は定例会議

「拡大学校運営協議会」の様子



学校教育目標

夢を持って、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成
～笑顔あふれる楽しい学校・地域とともに～



本校のキャリア教育「仙台自分づくり教育」で育む5つの力

1 みつめる力

フィールドワークやインタビューなどを通して、地域の良さや課題を深く見つめる力を養う。

2 うごく力

地域課題の解決、地域活性化イベントの企画・運営により、こどもたちが自ら考え行動する力を育む。

3 みとおす力

地域課題の解決を考える過程で、将来を見通す力を養い、未来への展望を育てる。

4 かかわる力

多世代の地域や保護者などの大人とも協働に学び、望ましい人間関係を築き、考えや気持ちを適切に伝え合う力を育む。

5 いかす力

地域を調べ得た情報や分かったことについて、情報を自ら正しく理解し、活用する力を育む。

「仙台自分づくり教育」—こどもたちの社会的・職業的自立に必要な力を育むことを目的とした教育—

5・6年生総合的な学習の時間

1

地域の現状を学ぶ

5・6年生が総合的な学習の時間に地域の歴史や現状について現地に足を運び、調査、見学をして理解を深める。

2

課題を発見する

地域の良い点や課題を見付け、「荒巻を元気にするにはどうすればよいか」を真剣に考え、様々な意見を交換する。

3

解決に向かって実行する

自分たちに何ができるかを考え総合的な学習の時間に実践に移す。
自分たちの取組を生かした地域活性イベントを企画・運営し、学びを形にする。

マルキ精肉店

仙台市青葉区荒巻神明町25-17

TEL 234-5279

技を受けつぐ
二代の味うますぎて
ごめんナカツ令和4年度本校ではSUNTORY「東北サンさんプロジェクト」の
助成を受けて地域活性化を目標に活動しています。SUNTORY
東北サンさんプロジェクト

令和4年度 仙台市立荒巻小学校5年生制作

あこがれの秘密基地



横田や

仙台市青葉区北山1-4-7 022-273-3788

令和4年度本校ではSUNTORY「東北サンさんプロジェクト」の
助成を受けて地域活性化を目標に活動しています。SUNTORY
東北サンさんプロジェクト

令和4年度 仙台市立荒巻小学校5年生制作



輪王寺



旅すっぺ



電話 022-234-5327

住所 仙台市青葉区北山一丁目14-1

令和4年度本校ではSUNTORY「東北サンさんプロジェクト」の
助成を受けて地域活性化を目標に活動しています。SUNTORY
東北サンさんプロジェクト

令和4年度 仙台市立荒巻小学校5年生制作



あの人を笑顔にしませんか？

フラワー＆リカー みどりや TEL 234 8297

令和4年度本校ではSUNTORY「東北サンさんプロジェクト」の
助成を受けて地域活性化を目標に活動しています。SUNTORY
東北サンさんプロジェクト

令和4年度 仙台市立荒巻小学校5年生制作

私達が描く町の未来

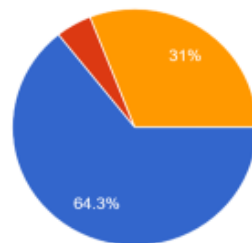
「笑顔あふれる人がたくさんいる、にぎやかな町」

- ・ 笑顔があふれる
- ・ 人が増えてにぎやかになる

→他の町の人が見てこの町に住みたいと思う。

荒巻地区の現状問題

30年後も荒巻地域に住みたいと思いますか。
42件の回答



「荒巻地区に住みたい」と
全員が思っているわけ
ではない

荒巻地区には足りない
ところがあるのではないか

事例①

荒巻小学校

アラフェスは、地域活性化のために行いました



大勢の人がきて、みんな
とても楽しかった

フェスを開催したので、
楽しいと思う人が増え
るのではないか

事例②

瀬戸内国際芸術祭

島々の人口は減少→高齢化が進み・地域の活力
が低下
地球上のすべての地域の希望の海となること・
人口増加のため→瀬戸内国際芸術祭を開催

瀬戸内国際芸術祭を開催

人口増加を目指している



＜私達がえがく町の未来＞

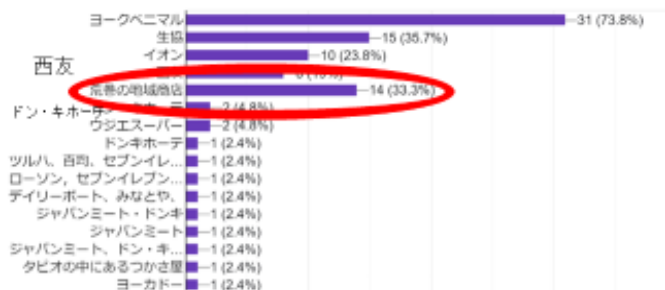
『荒巻にある商店で沢山の人が交流できる町』

沢山の人が交流する

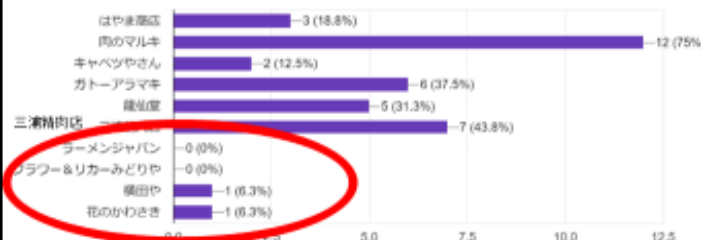
→仲が深まる・賑わう商店街になる

にぎやかな
荒巻地域になる!!

保護者の皆様が普段買い物する店はどこですか。 ※複数選択可能
42件の回答



①で「荒巻の地域商店」とお答えした方 普段から行かれているお店を教えてください。
16件の回答



＜現状の問題点＞

ヨークベニマルや生協を使う
人は多いが荒巻商店街を使う
人は約3割しかない!



やがて、荒巻商店街が
使われなくなり、お店
が潰れてしまう!

事例からわかったこと

- ・この大学生さんたちは、表町商店街の逸品を選んで、売ってます。
- ・ここでは、お酒や、果物、お皿などを売っています。

学生さんたちがこの活動を
しているのは...



町を賑やかにするため!!



『具体案』

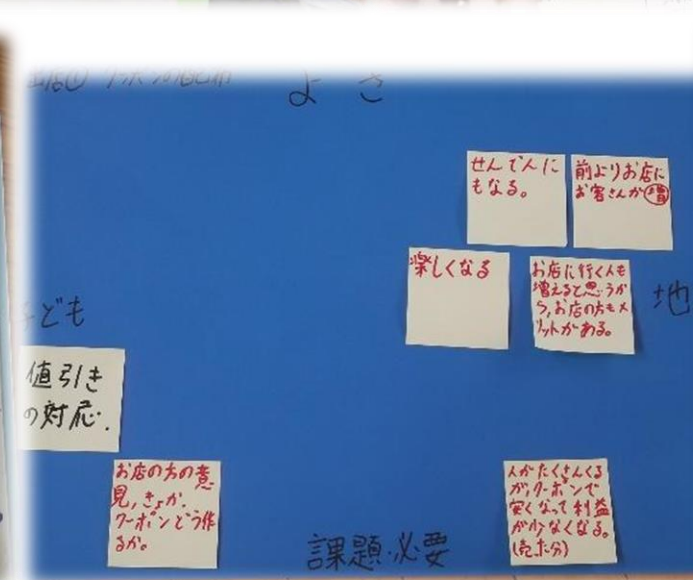
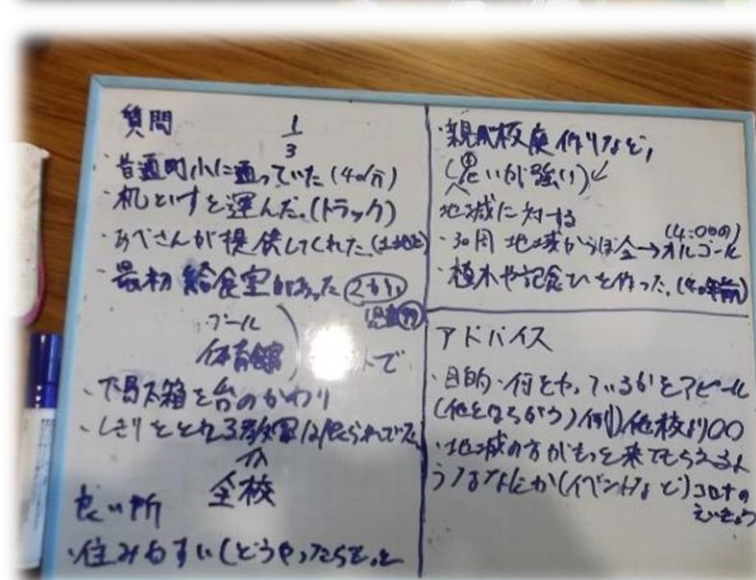
→荒巻商店街の出店

『6年生の提案』

→荒巻商店街の人気商品を売って、購入者へクーポンを
渡すと...

『荒巻にある商店で沢山の人が交流できる町』







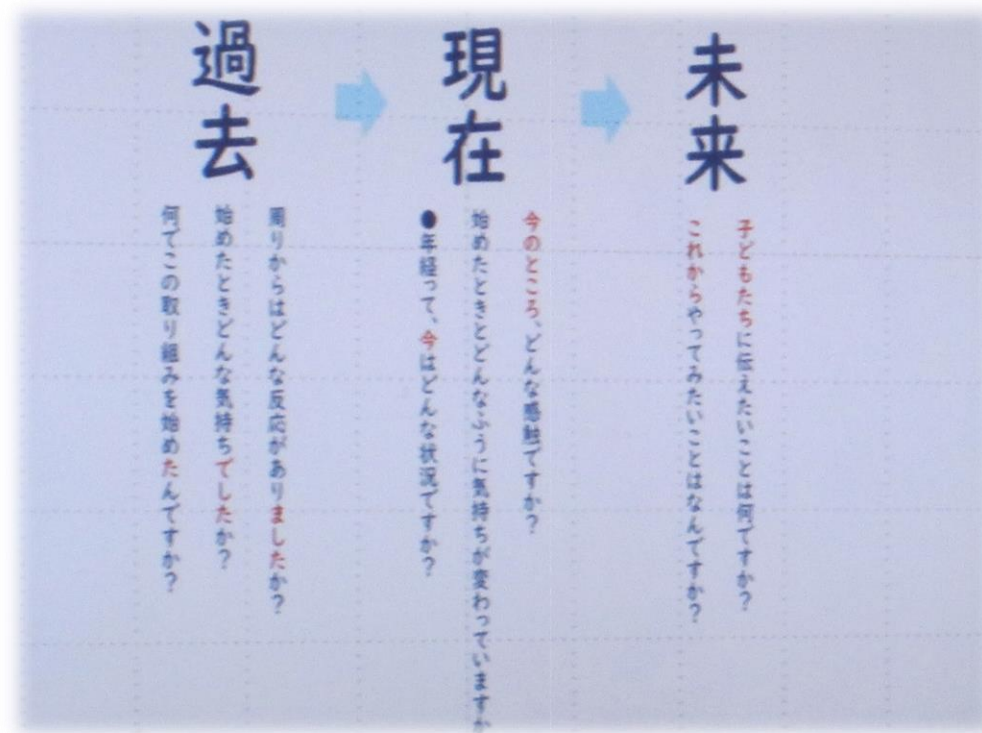












具体的にはどういうことですか？
 具体的なエピソードはありますか？
 具体的に覚えている言葉はありますか？

「深掘りする」

<本日のおしながき>

- ① 一歩踏み込むインタビュー
- ② キャッチコピーさわり







こどもたちの主体的な取組

- ・幅広い年代が楽しみ、地域課題に取り組む内容のイベントとして企画。
- ・拡大学校運営協議会として熟議の場で自らの思いや考えを説明。
- ・自分たちだけでは限界があることを理解し、地域や保護者に自分たちの考えを聞いてもらい、大人の見方や意見を求めた。
- ・まつりの出店などは、地域や保護者の協力を得て地域にとってより良いものにしようとした。
- ・企画から運営まで責任を持って取り組み、主体性と責任感を育んだ。

地域との協働

- ・6年生が主体となって学校と地域と保護者が一体となった学習になった。
- ・こどもたちと地域の人々の考えを互いに知る場になった。
- ・地域住民と協力し、荒巻地区の魅力と課題について共に考える機会になっている。

〈主体性を持った取組から〉

1 創造力と企画力

地域の課題を見付け、課題を解決するための具体的なアイデアを生み出す力が育った

2 コミュニケーション能力

多世代との対話と通じて、自分の思いを伝え、相手の立場を理解する力が育まれた

3 地域愛と責任感

地域を愛し、将来この地域を担う人材としての自覚と責任感が育まれた

〈協働から〉

1 自己理解の深化

自分たちの力だけでは実現できないことを素直に認める謙虚さを身に付けた

2 他者との協力

周囲を巻き込み、協働することの大切さを実体験をとおして学んだ

3 社会性の獲得

地域社会の一員として、他者と協力して目標を達成する貴重な経験を積んだ

〈こどもたちの声〉

これからも地域との距離感を縮める
ことができるよう努力したい

修正など一人では全てできないの
で協力が大切だと学びました

課題について考えるということ
を学んだ

自分で考えた経験を社会に出た
ときに生かしたい

他の人の意見や考えに耳を傾ける
ことが大切だと気付いた

私たちこどもたちだけでは、実現不
可能なことがたくさん出てきた。

どんな思いを持って活動しているの
か、何に困っているのかという大事
な話をした

〈その他の成長〉 令和7年度の全国学力学習状況調査より

- 1 「自分と違う意見について考えることを楽しんでいる児童」（全国平均+5%）
- 2 「総合的な学習の時間に課題を立て調べ発表する学習に取り組んでいる児童」（過去3年間全国平均+5~15%）

〈学校運営協議会〉

1 他者理解の深化

地域の状況や児童・地域住民・保護者の考えが鮮明になり、互いの立場や考え方への理解が深まった。

2 持続可能な支援

学校や地域をよく知る学校運営協議会が、様々な活動の窓口となることで、教職員の異動があっても地域連携や学校支援活動が途切れることなく、より持続可能な教育活動ができた。

3 情報提供

地域の情報が活発に提供され、学校の活動に地域人材が積極的に活用されたり、考えや思いが反映され改善や発展が図られるようになった。

〈地域・保護者の声〉

地域を活性化する取組がすてき
我が子も6年生で経験させたい

たくさんの地域の人とのつながりを大事にしているのがこどもたちを通して
伝わります

先生方と地域の方々の協力がとてもよかったです

こどもたちの総合的な学習の時間のねらいを大人がどれくらい共有しているか検証する必要がある

6年生には学びが一人一人あった。学習のねらいを大人が感じながらやっていければよい

〈こども〉 令和7年度全国学力学習状況調査より

「将来の夢や目標を持つ児童」 （全国平均 -5%）

身近な目標が将来の目標につながることに気付かせる学習の必要性がある

〈学校運営協議会〉

1 地域全体とする教育

学校運営協議会がこどもたちと地域をつなぐ窓口となって、こどもたちを地域全体で育てる環境を整える

2 未来を担う人材育成

多様なつながりの中で学び支え合う経験を大切にする

3 地域の成長はこどもとともに

主体的な学びを応援。こどもを地域で育み、地域はこどもと共に成長する視点を持ち続けること

〈教職員の声〉

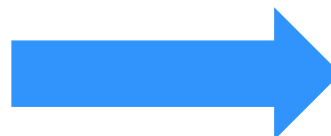
1 継続には意義、マンパワーなどの共通理解が必要。何を大切にして、何を削っていくかの検討がいる

2 転勤がある職場であり、町内を理解している人が少ないことを加味しなければならない

学校運営協議会を中心とした協働体制



- ・他者との協働体験
- ・目標達成への責任感
- ・地域への愛着と誇り



「生きる力」の育成